

高島で暮らそう。 Handbook



滋賀県高島市



びわ湖の“水のふるさと”

高島市は滋賀県の北西部、近畿地方の北部にあり、近畿、中京、北陸3圏の結節点に位置します。東は琵琶湖に、南西は比良山地を境に大津市および京都府に、北西は福井県に接しています。面積は693.05 km²（うち琵琶湖181.93 km²）、人口は約4万7千人です（R4.2.28 現在）。

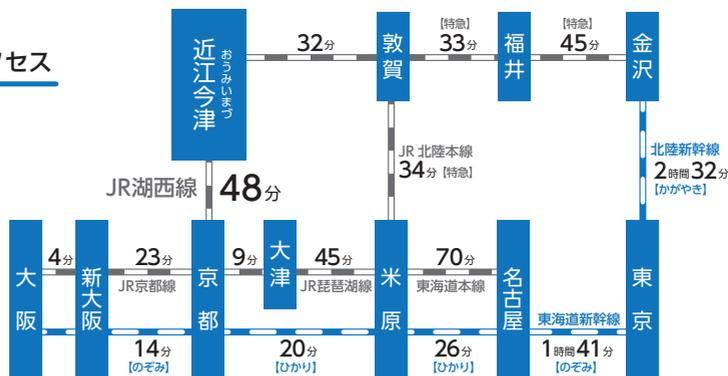
冬は寒く山間部では雪も多いですが、それらは緑豊かな森林を育むとともに、「母なる湖」琵琶湖へ注ぐ水の約3分の1を生みだしています。また、秋には「高島しぐれ」と呼ばれる天気雨がしばしばあり、たくさんの虹を見ることができます。

都市から近い“ほどよい田舎”

車で京都まで約1時間、大阪まで約2時間。
JR(新快速)で京都駅まで48分、大阪駅まで75分。

便利でありながら琵琶湖と山々が広がり里山に集落が点在する“ほどよい田舎”です。市街地にはスーパーや図書館が充実し、ほどほどの田舎暮らしが楽しめる一方、奥深い山の中では古民家を改修したり田畑を耕したり、自給的な暮らしをすることもできます。

鉄道でのアクセス



🏠 移住のために… 👤

高島暮らしの相談窓口 👤

高島に来て、いろいろな人と出会う

まずは一度、高島市に遊びに来てください。来られた際には、**地域の人や移住した人に会い、高島の良さや課題、暮らしについて聞いてみることをオススメ**します。高島市では、地域の人や移住をされた先輩の方々と出会い、お話を聞ける移住交流会を年に数回開催しています。また、季節ごとに色々なイベントやお祭りがありますので、参加することで様々な情報を得ることができます。是非、ご参加ください。

※交流会やイベントなどは、コロナウイルス感染症拡大状況により開催できない場合もあります。

高島の人と交流ができるイベントに参加しよう！（コレカラサロン）



炭づくり体験を楽しみました！



薪ストーブがある暮らしもいいね！

移住相談にお越しください

「移住したい！」という気持ちになられたら、高島市役所の定住相談窓口にお越しください（事前にご予約ください。電話やメール、オンラインでの相談も可能です。）。初めて高島に来られる方には、地域の概要を説明し、**希望される地域をご案内**します。また、**移住された方の話を聞けるようにコーディネート**もしています。

移住相談では、高島のどこに魅力を感じて選ばれたのか、どのような仕事を希望されるのか、どんな暮らしを望んでいるのか、などをお聞かせください。専門の相談員である移住・定住コンシェルジュが皆さんの移住に関するご相談に丁寧に対応します。

市内の協力事業者（宅地建物取引業者）さんと一緒に、空き家や集合住宅など、**住まいの紹介もしています**。

高島での暮らしを実現するには

移住する前には、いくつかのステップを踏む必要があります。そのプロセスは様々ですが、「高島で暮らそう。」ホームページに「高島暮らしへの移住ステップ」を用意しました。ご自身に合った移住までのプロセスを参考に確認してください。（「高島で暮らそう。」ホームページからダウンロードできます。）



（ホームページQRコード）

定住相談窓口（滋賀県高島市新旭町北畑 565 高島市役所 市民協働課 定住推進室）

☎ **0740-25-8526**

✉ **info@move-takashima.jp**

🌐 **https://move-takashima.jp**

📘 **@takashimadekurasou**

子育てをする

妊娠・出産

▶ 新たないのちの誕生を応援

安全な出産ができるように、妊娠された方の健康診査費用の全額助成や産婦の健康診査費用の助成、不育症等に悩む方の治療費の一部助成をしています。(健康推進課)



子育てに役立つ機能充実
子育て応援アプリ「はぐとナビたかしま」



子育て

▶ こんにちは赤ちゃん訪問事業

おおむね生後3か月までの乳幼児家庭を主任児童委員が訪問し、保護者の不安や悩みを聞いて、育児支援を行っています。(子育て支援課)

▶ ブックスタート事業

親子で絵本を楽しむ時間を過ごしませんか？ブックスタートの趣旨説明と絵本の読み聞かせのあと、おうちでも楽しめるよう、絵本を1冊お渡ししています。(図書館)

▶ 子育て支援センター・つどいの広場・子育て支援室

乳幼児（未就園児）の遊びの場で、子育ての相談、交流の場です。おうちの方も子どももリフレッシュしよう！市内の認定こども園、児童館などに併設されています。(子育て支援課)

▶ 0歳児からの一時預かりサービス

保護者が一時的に家庭で保育できない場合、未就園の0歳児からの一時預かりを行っています。(子育て支援課)

イチオシ!

▶ 市内の教育・保育施設に通う子どもの保育料が完全無償!

高島市では、2歳以下の子どものうち、国の「幼児教育・保育の無償化」の対象とならない子どもの保育料も無償化します。保育園、幼稚園、認定こども園等に在園する子どもの保育料の負担はありません。 ※延長保育料、行事費等は、保護者負担となります。(子育て支援課)

▶ 中学生までの医療費が無料!

中学校卒業までの子どもの入院、通院にかかる医療費（自己負担分）が無料です。(保険年金課)

▶ 学校給食費が完全無償!

市内小中学校に在籍する児童生徒の給食にかかる費用が無償となります。また、市内在住で市外の学校に在籍する場合、一部補助金を交付します。(学校給食課)

▶ 学童保育所

放課後や長期休み中の留守家庭に対して、適切な遊びや生活の場を提供しています。(子育て支援課)

▶ 病児保育室 おひさま

病気のお子さん(生後6か月～小3)をお家で看ることができない場合、高島市民病院内の病児保育室で保育します。(子育て支援課)



利用時間：月～金 8:00～18:30 TEL:080-5706-9555

利用料：1日1人2,000円(市外在住者4,000円)

※在園児等減免措置あり

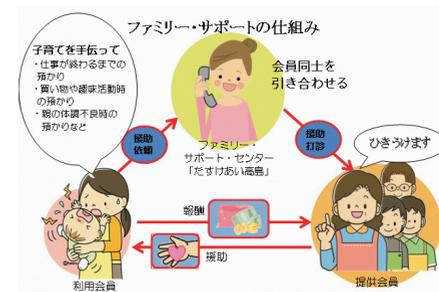
▶ ファミリー・サポート・センター たすけあい高島

子育て中の方が仕事と育児を両立し、安心して子育てができるよう、お子さんの預かりなど会員同士で助け合います。詳細は下記までお問い合わせください。(子育て支援課)

〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5

エスパ店内(NPO法人 元気な仲間)

TEL:0740-33-7805 Mail:tasuukai@npo-genki.com



▶ 図書館(室)

市内にはマキノ図書館・今津図書館・新旭図書室・朽木図書サロン・安曇川図書館・高島図書室の6つの図書館(室)があり、おはなし会等、ご家族で楽しんでいただける行事を開催しています。

HP: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/takashima/>



幼稚園・保育園・認定こども園等

[私立幼保連携型認定こども園]



なないろこども園



愛隣こども園



中央ユニバーサルこども園



藤波こども園



安曇川はこぶね保育園



しろぶじ保育園

[公立保育所型認定こども園]

マキノ東こども園/マキノ西こども園
朽木こども園/高島こども園
大師山さくら園/静里なのはな園

[公立保育園]

古賀保育園

[公立小規模保育事業所]

今津東保育園

[私立幼稚園]

今津幼稚園

[私立小規模保育事業所]

はこぶね保育園ひかりの

[私立家庭的保育事業所]

家庭的保育園Peek-a-boo

住まいを見つける・つくる

住まい探し

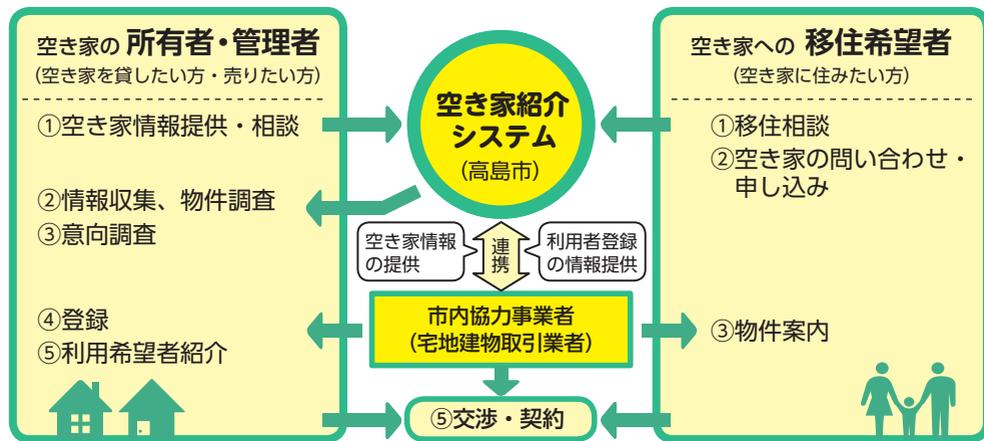
▶ 住まい探しのポイント

高島市は広く、地域によって住環境が異なります。季節ごとに訪れて、気候風土や景色、積雪量などを見て、地域の人にも話を聞いてみてください。駅やスーパー、病院、学校なども自分の目で確かめ、思い描く暮らしができるか、具体的に想像しましょう。

空き家の賃貸や購入を考えられている場合、場所や広さ、価格など、優先順位を決めて不動産会社に伝えると、分かりやすく情報も得やすいと思います。「理想的な住まい」を実現されている移住者の方は、高島に住んで地域に馴染みながら住まいを探し、理想の物件を購入し、リフォーム（セルフビルド含む）されている方が多いです。理想の暮らしはゆっくり実現していく心構えが必要です。

市内の協力事業者（宅地建物取引業者）さんと一緒に、空き家や集合住宅など、住まいの紹介もしています。

空き家紹介システムのしくみ（利用方法）



高島市空き家紹介システムの協力事業者(宅地建物取引業者)

有限会社 桜住建	有限会社 湖西住研	株式会社 澤村
株式会社 梅久	株式会社 BELIEF	弘徳興業株式会社
株式会社 北條	株式会社 エム・ジェイホーム	ほうき不動産

リフォーム・引っ越しのための補助制度

それぞれ補助要件があります。申請をお考えの方は、**必ず**着手される前に担当課にご相談ください。

高島市結婚新生活支援事業

[担当] 子育て支援課 TEL:0740-25-8136

高島市では、新たに結婚をされ、高島市で新生活を始められる方を対象にその費用の一部を助成します。

【対象となる人】 夫婦ともに婚姻日における年齢が **39歳以下**かつ世帯所得 **400万円未満**の新規に婚姻した世帯（対象となる世帯については、他に条件があります。）

【対象となる経費】 婚姻に伴う転入または転居で生じた次の経費

- ・新たに物件を取得した場合の経費
- ・新規の住宅賃借経費（賃料・敷金・礼金・共益費・仲介手数料ほか）
- ただし、会社から住宅手当が支給される場合などはそれを除きます
- ・引越費用（引越業者または運送業者へ支払った実費）

【補助上限額】 29歳以下の世帯：**60万円** 39歳以下の世帯：**30万円**
※詳しくは、子育て支援課までお問合せください。

定住住宅リフォーム補助

[担当] 市民協働課 TEL:0740-25-8526

【対象となる人】 次の①②のいずれかに該当する方

- ①高島市へ移住・Uターンしようとする方で、転入後**3年**を経過しない方
- ②市内の賃貸住宅などにお住まいで**実家に定住**しようとする方または**婚姻により実家に定住**しようとする方で、**40歳未満**の方または**小学校6年生**までの子を扶養し、同居する方

【対象となる住宅】 次の①②のいずれかに該当する住宅

- ①定住するために購入した中古住宅、所有する住宅
- ②相続・贈与によって取得する実家

【対象となる事業】 市内業者が請け負う**50万円以上**のリフォーム工事

【補助金の額など】 補助率は**最高1/4**、総額は**最高50万円**、地域通貨「アイカ」で5年間分割均等払い
※ 年齢等の要件によって補助率が変わります。
※ **着工前に申請が必要**です。

市内産材活用促進事業補助金

[担当] 森林水産課 TEL:0740-25-8512

【対象となる人】 建築主

【対象となる事業】 市内業者が行う、住宅等の**新築、増改築**および**改装工事**（市内産材を1㎡以上使用すること）

【補助金の額など】 住宅類で市内産材1㎡あたり2万円、限度額30㎡まで60万円
※ 建物の用途などにより、補助単価が変わります。（森林認証材を使用した場合は補助単価が上がります。）
※ **着工前に申請が必要**です。

市内の住宅を居住用住宅として購入・増改築等する場合、「高島市移住定住応援住宅ローン」として関西みらい銀行の借入金利率がローン基準金利から年1.95%引き下げられます。詳しくはお近くの関西みらい銀行までお問い合わせください。

「定住住宅リフォーム補助」を利用して市内の住宅を取得する場合、住宅ローン【フラット35】の借入金利率が当初5年間、年0.25%引き下げられます。詳しくは市民協働課【0740-25-8526】までお問い合わせください。

その他に太陽熱温水器設置事業補助金、住宅用太陽光発電システム設置補助金があります。詳しくは、環境政策課（0740-25-8123）までお問合せください。

仕事を見つける・つくる

仕事探し

▶ 高島市若者定住職業相談コーナー

高島市では、厚生労働省地方公共団体無料職業紹介事業の届出を行い、ハローワーク求人情報オンライン提供サービスを利用し、求人情報の紹介をします。

ハローワークの求人情報はもちろん、企業からお聞きした業務内容や人材ニーズなどをとくに、あなたに合ったお仕事を紹介します。「しごと」に関するお悩みは何でもご相談ください。

[定住相談窓口] 市民協働課 TEL：0740-25-8526

▶ ハローワーク高島 (大津公共職業安定所高島出張所)

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広 4-37
TEL：0740-32-0047 FAX：0740-32-3419
利用時間：月～金曜日 8：30～17：15
休日：土・日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
アクセス：安曇川駅より徒歩約3分、駐車場あり



▶ 高島地域雇用創造協議会

高島地域雇用創造協議会では、市内で多くの魅力ある雇用の創出に取り組んでいます。商工観光業、ICT活用分野などでの雇用創出を目指し求職者のスキルアップのための「人材育成セミナー」、企業などの経営力アップのための「魅力向上・事業拡大セミナー」を開催しています。また、高島市へのUITターン希望者を対象にした市内企業への就労体験も実施しています。



高島地域雇用創造協議会

〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭1丁目10-1 高島市観光物産プラザ 2F
TEL：0740-25-5731 FAX：0740-25-5732
HP：<http://www.takashima-shigoto.jp> Mail：info@takashima-shigoto.jp



▶ 高島市の就職支援

高島市では市内企業と求職者がマッチングするための合同就職面接会を毎年開催しています。開催時期や出展企業などの詳細はそれぞれお問い合わせください。

- 「大学4回生への企業面接会」
(高島地域雇用創造協議会 TEL：0740-25-5731)
- 「合同就職面接会」
(高島地域雇用創造協議会 TEL：0740-25-5731)
- 「介護と福祉の就職フェア」
(長寿介護課 TEL：0740-25-8029)



市内の高校生が、市内で様々な仕事をしている方を紹介する情報誌「Life runner in Takashima ～10人の物語～」を配付しています。ご希望の方は市民協働課 (TEL0740-25-8526) まで。



就農に関する支援制度

▶ 新たに農業を始めるため 研修期間中の生活費を確保したい

農業次世代人材投資事業

【準備型(研修期間中)】

都道府県等が認めた農業大学校等の研修機関や先進農家・先進農業法人等で研修を受ける場合、就農予定時の年齢が原則50歳未満である方に、**最長2年間、年間150万円**を交付します。

(農林水産省 農業次世代人材投資事業)



▶ 新たに農業を始めたいが、 就農直後から所得を確保したい

農業次世代人材投資事業

【経営開始型(独立・自営就農後)】

青年等就農計画の認定を受けた年齢が50歳未満の独立・自営就農する認定新規就農者に農業を始めてから経営が安定するまで**最長5年間、1～3年目は年間最大150万円、4～5年目は年間最大120万円**を交付します。(農林水産省 農業次世代人材投資事業)



令和4年度から制度が変更されるため、上記の事業は、令和3年度の事業内容となっています。詳細については、農業政策課 TEL：0740-25-8511 へお問い合わせください。

暮らしを豊かにする

日々の交通

▶ 京都、大阪へのアクセスはJR湖西線（鉄道）

JR 湖西線は、全線高架で車窓から見える風景が美しいことで知られています。また、通勤や通学にも便利で、乗り換えなしに京都や大阪まで行くこともできます。



▶ 国道 161 号

高島市内を縦断する主要道路、国道 161 号は敦賀 IC～京都東 IC をつないでいます。琵琶湖や田園の風景から四季折々の自然が感じられ、日々のドライブも豊かな時間です。バイパス工事の進行により、都市部へのアクセスがますます速く便利になりました。高島市役所から名神高速道路京都東 IC まで約 1 時間です。



買い物、病院

▶ スーパー、道の駅、朝市

駅や国道周辺の市街地には、食料品や生活用品が揃うスーパーや薬局、家電量販店などがあります。

また、市内にある「道の駅」「農産物直売所（ファームマーケット）」、道の駅につき新本陣にて休日に開かれる「朝市」、収穫の時期などに現れる「野菜の無人販売」などで、地場産の新鮮な農産物や加工品を購入することができます。



道の駅 藤樹の里あどがわ

▶ 病院、診療所など

総合病院である「高島市民病院」をはじめ「(一財) 近江愛隣園 今津病院」、「医療法人 マキノ病院」があります。

また、市内各地に多くの診療所（内科、外科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、眼科など）や歯科医院があります。

他にも地域完結型医療の実現を目指し、地域医療連携推進法人「滋賀高島」が滋賀県で初めて認可を受けました。



高島市民病院

地域のつながり、防災

▶ 集落での助け合い、年中行事

高島市は平成 17 年に 5 町 1 村（マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町）が合併してできました。

約 200 の区、自治会があり、それぞれ区費などの負担金で運営しています。清掃作業や防災訓練など、助け合いながら地域づくりをしています。四季ごとにお祭りや伝統行事、スポーツ行事などがあり、子どもからお年寄りまで様々な世代の人が協力、交流して楽しんでいます。（市民協働課）



集落の集まりの様子

▶ すべての家庭に防災無線

火災や風水害時の避難などの緊急情報や、市役所からのお知らせを自宅で聞くことができる戸別受信機を、1 世帯に 1 台貸与しています。集落によっては緊急連絡網や非常食の準備など、独自の対策もあります。（防災課）



防災無線

しふくのふくし

▶ ずっと安心して暮らせる集落づくり

集落ごとに子どもやお年寄りの見守りや、支え合いの活動をしています。集落によって、みんなが集える場づくりとして、集会所などでワンコイン・カフェをしたり、高齢者の見守りや送迎サービスなどの活動があります。



▶ 福祉や暮らしに関わる相談、サポートなど

市社会福祉協議会に、福祉の相談、法律の相談、ひきこもりの相談、生活の困窮についての相談などの窓口が開設されています。また、市内の社会福祉法人などに、障がい者や高齢者の介護、福祉、健康、医療などについての相談窓口もあります。医療や福祉の専門職とともに総合的な相談支援を行っています。（各種相談窓口）

▶ 中学校区ごとの福祉計画、ボランティアセンター

中学校区（旧町村）ごとに住民による福祉の活動計画が作られています。それぞれの地域には、住民が運営する地区ボランティアセンターがあり、ボランティアを募集しています。誰もが気軽に立ち寄れる居場所であり、困りごとが話せる場です。（高島市社会福祉協議会）

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畑 45 番地 1 新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」
TEL: 0740-25-5730 FAX: 0740-25-5177
HP: <http://takashima-shakyo.or.jp> Mail: inquiry@takashima-shakyo.or.jp

アウトドア

高島市は、自然豊かな地域のためアウトドアを楽しむのに最適なフィールドが広がっています。

キャンプひとつを取っても、高原や琵琶湖沿いなど様々な場所にキャンプ場があります。

他にもカヤックやSUP(サップ)など湖上でのアクティビティも体験することができます。

少しゆったりとした過ごし方をしたい人は、森林や田園地帯をウォーキングしてみるのもオススメです。

日常にアウトドアを取り入れた生活を高島市でしてみませんか。



マキノ高原キャンプ(春)

水のふるさと

高島は琵琶湖の水の3分の1を生み出す水源の郷です。陸地の72%が森林で森に降るたくさんの雨や雪は土壌に浸透し、時間をかけてる過され、川となって琵琶湖に注ぎます。

山里にはいくつもの湧水があり、日常的に使われています。

琵琶湖側では、新旭町針江地区の「川端(かばた)」が代表するように、清らかな伏流水を家々で使い、美しいまま琵琶湖に流す暮らしが営まれてきました。自然と人々の共生が生み出した暮らしの風景は、「重要文化的景観」として全国的に注目を集めています。



針江のかばた

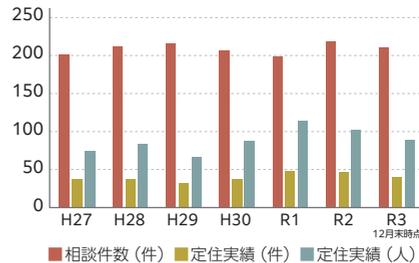
高島市内の湧水

- ・「生水(しょうず)」 新旭町針江、霜降
- ・「秋葉の水」 安曇川町中野
- ・「玉水」 新旭町岡
- ・「アカヤの水」 マキノ町上開田

プチ情報

高島市に移住する人はどれくらいいるの??

定住相談窓口を通じた移住相談は年間約200件あり、毎年30~40件、80~100人の方が高島市へ移住をしています。年々、移住される方が増えてきており、多くの先輩移住者さんがいます。実際に移住された方の体験談などのお話を聞くのも移住の大きな一歩です。



イベント・行事に参加する

スポーツ、伝統行事

▶ 山で、湖で、スポーツを楽しもう

市内には夜間照明や屋根付きのグラウンド、テニスコート、体育館、温水プール、スキー場などスポーツ施設が充実しています。

青少年を対象とした様々な種目のスポーツ少年団があり、中学校や高校での部活動、民間のクラブチームの活動も盛んです。豊かな自然の中で行われるマラソン大会やトレイルラン、ボート(ペーロン)大会、スキー競技会など市内外から多くの参加者が集まり、地域を活性化しています。



栗マラソン

▶ 歴史を伝える伝統行事

市内各所で折々に行われる伝統行事。見ものは春。城下町ゆかりの大溝祭(5/3 宵宮、5/4 本祭)、湖西随一の馬祭りといわれる七川祭(5/4)、舟運で栄えた港町ゆかりの海津力士まつり(4/29)など、地域の歴史や生業を今に伝える祭礼が4月、5月にめじろ押しです。

例年、4月の第3日曜日に開催される川上祭は、五穀豊穡などを願う祭礼で、今津町北部とマキノ町の一部を占める氏子によって行われます。地元では「サンヤレ祭」とも呼ばれ、滋賀県無形民俗文化財に選択されています。神社での式典後、平ヶ崎馬場で約20mの色鮮やかなのぼりや踊り子の巡行、流鍋馬(やぶさめ)の奉納などが行われます。



川上祭

市民による、市民のための、まちづくり

▶ 持続する、つながる地域をみんなでつくろう

「まちづくり」に取組む市民活動団体や、グループがたくさんあります。地域の課題解決や、持続可能な暮らし、ソーシャルビジネスなど、それぞれの団体が「ずっと豊かに楽しく暮らせる高島」を目指して様々な活動をしています。「たかしま市民協働交流センター」ではその活動の支援や紹介をしています。また「市民活動フェスタ」や「まちづくり推進会議」など話し合いや交流の場をつくっています。



市民活動フェスタ

たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 高島市今津町中沼1-4-1 TEL:0740-20-5758 FAX:0740-20-5757
HP: <http://tkkc.takashima-shiga.jp> Mail: webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

しがIJU相談センター（ふるさと回帰支援センター内）

全国から高島市への移住を検討されている方は、ふるさと回帰支援センター内に移住に関するワンストップ窓口「しがIJU相談センター」が開設されていますので、お気軽にお立ち寄りください。

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1（東京交通会館8階）
Mail: shiga@furusatokaiki.net
直通 TEL: 090-2730-4793（代表 TEL: 03-6273-4401）
営業時間: 10時～18時（休日: 月曜日、火曜日、祝日）



滋賀の情報を首都圏で発信！東京日本橋「ここ滋賀」

滋賀の魅力を様々な角度からお伝えするイベントや、特産品・伝統工芸品などの販売、各蔵元の地酒が味わえる地酒バー、近江牛をはじめとした滋賀の食材をふんだんに使ったレストランなど、滋賀を全身で体感していただける場をご用意しています。令和4年4月末にリニューアルオープンします。是非お立ち寄りください。



〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1
JR 東京駅: 八重洲北口 徒歩6分 / 東京メトロ・都営地下鉄 日本橋駅: B6、B8 出口すぐ
1F 共通: TEL: 03-6281-9871 / FAX: 03-6281-9877
2F レストラン: TEL: 03-6281-9872 HP: <https://cocoshiga.jp/>

市外でも高島市の情報が入手！「出張相談会」

高島市内だけでなく、年数回、大阪や東京で開催される移住のイベントにも相談窓口の相談員（移住・定住コンシェルジュ）が出張相談を行っています。

まだ、移住を考え始めたばかりの方など、一度、高島市のブースへ来てください。高島市の魅力をお伝えします！



おいでや！いなか暮らしフェア（大阪）

TOPIC たかしま空き家Life Designコンペ

高島市内の空き家をもとに、学生ならではの視点や自由な発想を生かしたり、フォームデザインを通して、市での新しい住まい方を提案してもらうコンペを実施しました。

最優秀等の作品を紹介していますので、ぜひご覧ください。
新たな高島市の魅力など気づきがあるかも！？



コンペ結果ホームページ

「豊かなまち、高島」

高島への移住は5年前から考えていて、コロナ禍をきっかけに会社を退職し移住を実現させました。仕事も暮らしもゼロからだったので不安もありましたが、地域の方をはじめ皆さんの助けのおかげでとても充実した日々を送れています。

満点の星空、季節感ある山並み、一面の田園風景、カエルの大合唱、函鑑で見る清流の生き物たち…あぁなんて豊かなんだろうといつも感じています。小学生と保育園の息子たちも毎日のびのび楽しそうに過ごしていますし、憧れだった「子どもと一緒に庭キャンプと焚き火」も実現できて、とても幸せです。

これからも高島で等身大の暮らしを送っていきたいです。



佐野 誠二さん

「娘を自然の中で育てたい」

自然豊かな土地へ移住できたらいいねと以前から考えていましたが、大きな夢に終わりそうでした。しかし、「娘を自然の中でのびのび育てたい！」と思い、娘の小学校入学をきっかけに移住を決意し、いろいろな場所を探してみました。

その中で、高島市の情報を見て、いろいろな方と知り合いました。豊富な自然、人のやさしさ、温かさ感激し、「ここだ！」と思い、移住を決めました。

松村 貴志さん

これから家族3人で新たな発見をしながら、今まで以上に楽しい生活を送っていきたいと思います。

最後に、私たちは料理人です。高島の方にいただいた恩を『食』を通してお返ししたいと、今から腕がうずうずしています。





高島縁人

高島縁人

観光でもなく、移住でもない、その人ならではの楽しみ方で高島市とつながってくださる方々を、高島と縁のある人＝高島縁人（たかしまえんじん）と呼んでいます。HPで高島市とつながることのできる様々な活動を紹介しています。



<http://www.takashima-engine.com/>

豊かな「恵み」を、おすそわけ。

滋賀県高島市は、琵琶湖に注ぐ水の約30%を生み出すまち。言うなれば、近畿に住む約1,400万人にとっても大切なまち。その高島市の暮らしと水源地を守る仕組み、ふるさと納税。そのお礼は、高島市が誇る豊かな「恵み」です。



高島市 ふるさと納税 検索

高島屋、ゆかりの地。

滋賀県 高島市



表紙・裏表紙／藤田さんご家族

「滋賀で暮らすなら琵琶湖沿いを…。」そんな希望を抱き、令和3年に大津市から移住した藤田さんご家族。

お子さんは帰宅後急いで宿題を済ませ、友達と浜で待ち合わせ、楽しく遊ぶ毎日。

また、奥さんは、高島での生活を記録したり、お子さんとシーグラスを探したりと、湖との暮らしを満喫中。

空き家をリノベーションしたこだわりのご自宅で、建築家として活躍する藤田さんの「たかしまLIFE」は始まったばかりです。



高島で暮らそう。Handbook

2022年3月発行

高島市役所 市民生活部 市民協働課 定住推進室
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565
tel: 0740-25-8526 fax: 0740-25-8156
mail: kyoudou@city.takashima.lg.jp



シーグラス見つかったかな？